

尾張の宗教

一宮市博物館では、これまで様々な分野の専門家をお招きし、尾張地方の文化や自然について、様々な視点からご講演いただいております。23回目を迎える本年度は、「尾張の宗教」をテーマに、宗教美術や考古学などの分野からお話しいただきます。

7/21
土

一宮の地獄絵

—熊野観心十界図(浄観寺所蔵)を絵解く—

たかす じゅん
鷹巣 純氏 (愛知教育大学教授)



「熊野観心十界図」部分
(浄観寺蔵・当館寄託)

7/29
日

尾張平野の古代寺院と古瓦

かじわら よしみつ
梶原 義実氏 (名古屋大学大学院准教授)



「軒丸瓦 伝法寺廃寺出土」(館蔵)

8/26
日

一宮のほとけたち

—地域の仏像に親しむ—

みた たかあき
見田 隆鑑氏 (椋山女学園大学准教授)



「木造阿弥陀如来坐像」
(長隆寺蔵・当館寄託)

時間 午後1時30分～3時(開場:午後1時)

場所 一宮市博物館講座室

定員 60名(当日12時30分より整理券配付)

参加費 無料(ただし常設観覧料が必要)

交通アクセス 名鉄名古屋本線「妙興寺」駅南口より徒歩7分
ニコニコふれあいバス「博物館西」より徒歩5分

●交通案内図



常設観覧料 一般200円(160円)、高校・大学生100円(80円)、小・中学生50円(40円)

※()内は20人以上の団体料金。
※未就学児および一宮市内の小・中学生は無料。一宮市外小・中学生は土曜日無料。
※一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。
※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(付添人1人を含む)は無料。
無料ゾーン たいけんの森・展示ホール・ギャラリーは無料で観覧いただけます。